

# 思いやり・優しさは無事故につながる

(岡山) (有)S急送 S・I (男性)

先日、岡山県トラック交通共済協同組合から無事故で優秀組合員賞を頂きました。

社員一同大変喜び、更なる交通事故「ゼロ」を目指して取り組んでいます。

2年前、岡山には珍しく積雪があり、夕方から雪が降り始めた。その日の深夜の運行管理担当になっていた私は、雪道運転の経験が無く、峠や大橋を通過して通勤するので困ったと思い家で思案していた。その時、携帯に社員から電話があった。

「専務、今日の運行管理ですね。峠や大橋は滑りますから、専務の家から会社まで、峠や大橋を通らないルートがありますから・・・」と事細かく説明してくれた。

私が事前にこの社員に相談した訳でも無く、社員が思いやりと優しさで電話をしてくれたのである。

私が入社して運行管理をしても、よく電話で「専務、バイパスが事故で通れませんかからそこを通る社員に伝えて下さい。」と連絡してくれる。

社員がパンクやトラブルで困っていると、私に電話が入る。仕事を終えた社員がそれを聞きつけお願いしなくても、当該社員に連絡を取り、数名が現場に向かって、残りの社員は待機してくれている。

我が社は新聞を配送する会社なので、朝刊は深夜から明け方まで労働する。

社員は疲れて早く帰宅したいはずであるが、同僚を思い、残ってくれているのである。

このほかにも、会社に一般の方から「S急送さんの運転手さんに、脱輪して困っていたら助けて頂きました。ありがとうございました。」などとお礼の電話が入る。

このような思いやりと優しさは、全てのものに通じていて、他を思う心は“思いやり運転”にもつながる。トラックの異常時等も、人ごとではなく気軽に声を掛け合い、自分のトラックではなくとも自主的に整備してあげている。この行為も無事故につながっていると思う。

## ①思いやり、優しさは無事故につながる

この思いやり、優しさの行為をみんな褒めることで、“プラスの連鎖”が起こり社員全員が取り組もうと努力する。年に数回社員研修の場で、よい行為を披露し顕著な社員には賞状と記念品の盾（該当者の名前と称賛する言葉を入れる）を贈る。（賞状用の額も盾も市販のものではなく、別注でオリジナルのものを使う。貰う立場で喜んでもらえるものを授与する）こうすれば、もらった社員は、自宅に持ち帰り、飾ることが出来て、家族から賞賛されると聞いている。よく社員の奥さんから、お礼にお電話が社長や私に入る。家族から尊敬され、褒められることは、より効果が出るようである。

人間は褒められたいという気持ちを持っている。

常にミスをする人は叱られるばかりで、委縮してしまい“負の連鎖”で交通事故を起こしやすい。

ミスは的確に指摘し、未来でつなげるように指導する。そして良い所を探し、褒めると人は成長しミスが無くなる。

## ②褒める行為は“プラスの連鎖”になり、無事故の取り組みも含めて、会社全体に良い影響を及ぼす。

このように、いろいろな取り組みを実践して、これからも交通事故「ゼロ」を目指して取り組んでいきたいです。